

2021年度（2022年3月期）
第2四半期 決算説明会

2021.11.19



社名変更 … 3

1. 2021年度 第2四半期業績

- (1) 決算ハイライト … 5
- (2) 業績ハイライト (受注高・売上高) … 6
- (3) 業績ハイライト (営業利益) … 7

2. 2021年度業績予想

- (1) 計画サマリー … 9

3. セグメント別概況

- (1) NTTグループ … 11
- (2) NCC … 12
- (3) 都市インフラ … 13
- (4) システムソリューション … 17

4. グループ戦略

- (1) グループ再編成 … 21
- (2) 国内M&A実績と今後の狙い … 22
- (3) ESG目標 … 23

5. 株主還元

- (1) 配当、自己株式 … 25
- (2) 総還元額、ROE・EPS … 26

6. トピックス

- (1) コロナウイルスワクチンの職域接種 … 28
- (2) スマートオフィスコンセプトにした支店オフィスの新設 … 29
- (3) 再生可能エネルギー由来電力を導入 … 30

本年10月1日に社名を変更いたしました

グループの一人ひとりの持つ力を結集し、一体となって未来を目指すという強い意志を込めた新社名のもと、さらなる成長を追求してまいります。

- 新商号 エクシオグループ株式会社
(英 : EXEO Group, Inc.)
- 変更日 2021年10月1日

弊社HPに、スペシャルサイトをご用意しました。是非一度ご覧ください。

<https://www.exeo.co.jp/special/index.html>





1. 2021年度 第2四半期業績

／ (1) 決算ハイライト

受注高・売上高・営業利益、すべてが過去最高の第2四半期決算

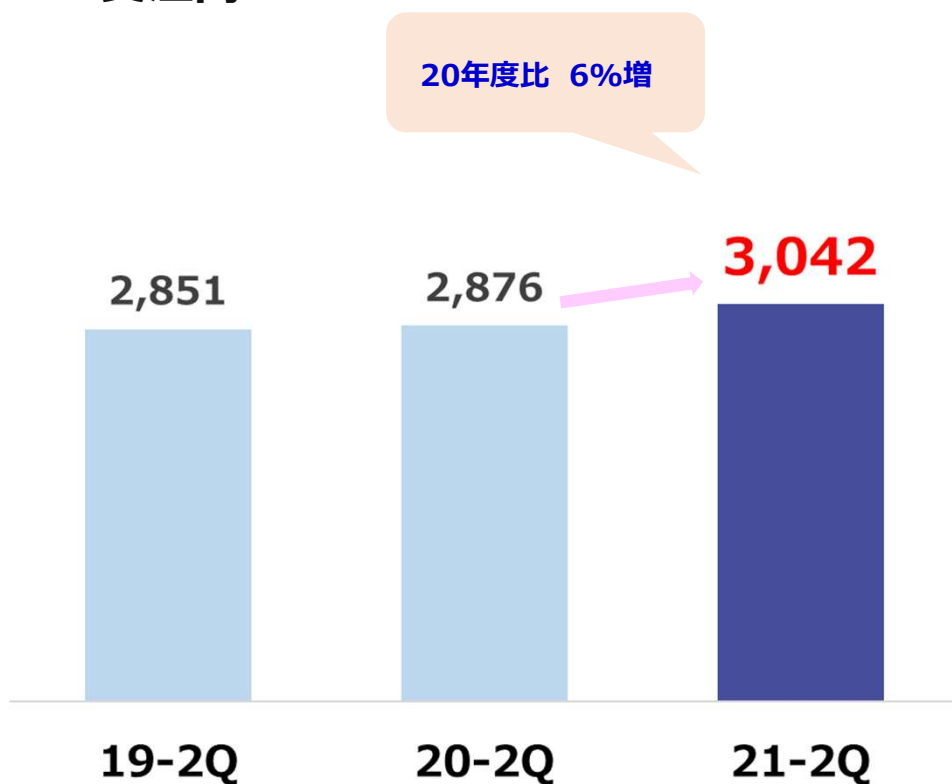
営業利益は前期比+52%と好調（販管費の増加を抑制）

自己株式消却（100万株：11月）、記念配当（2円：期末）を実施予定

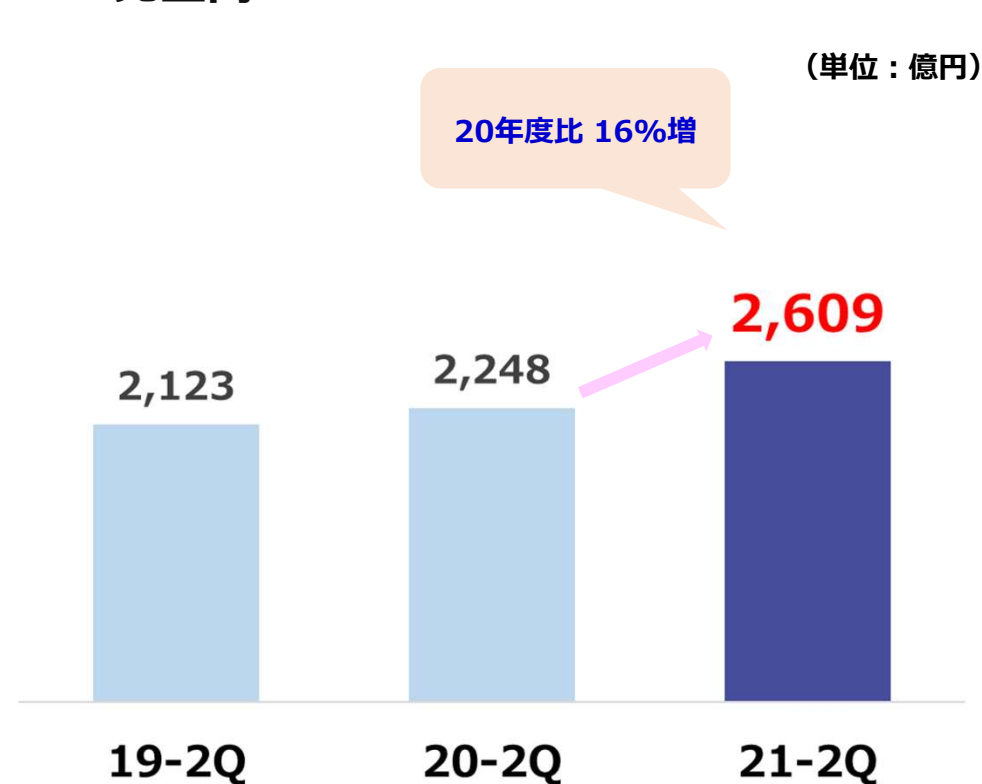
／ (2) 業績ハイライト (受注高・売上高)

受注・売上共に過去最高、全セグメントにおいて前期比増で着地

■ 受注高



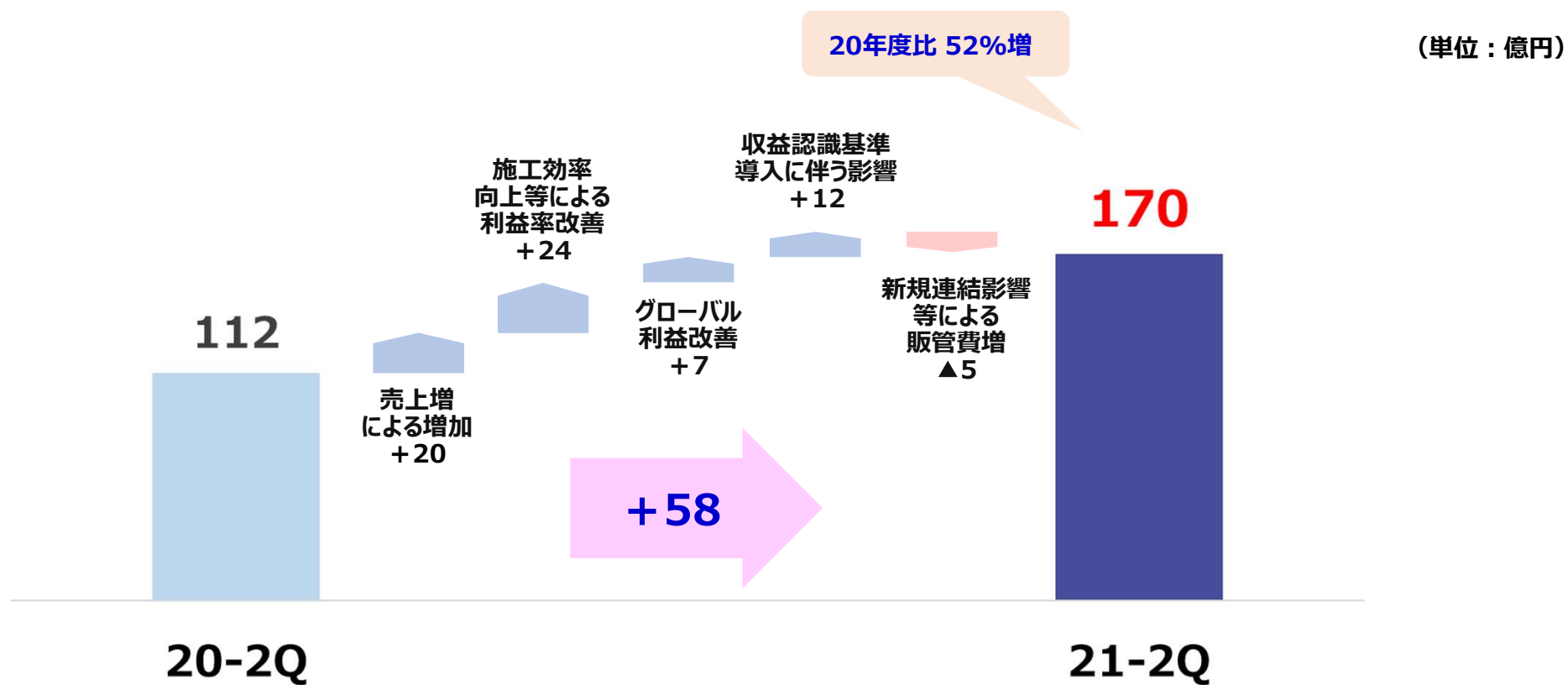
■ 売上高



／ (3) 業績ハイライト (営業利益)

売上高の増加に伴う利益増に加え、グローバル等の利益改善も進み、大幅増益

■ 営業利益





2. 2021年度業績予想

／ (1) 計画サマリー

上期業績は好調に推移するも、世界的な半導体不足の影響や昨年下期の特需の反動を考慮し、現時点では、通期予想を据え置き

(単位：億円)	2020年度	2021年度	
	実績 A	計画 B	前期差 B-A
受注高	6,310	5,500	▲810
売上高	5,733	5,600	▲133
営業利益	(6.4%) 366	(6.6%) 370	(+0.2P) +4



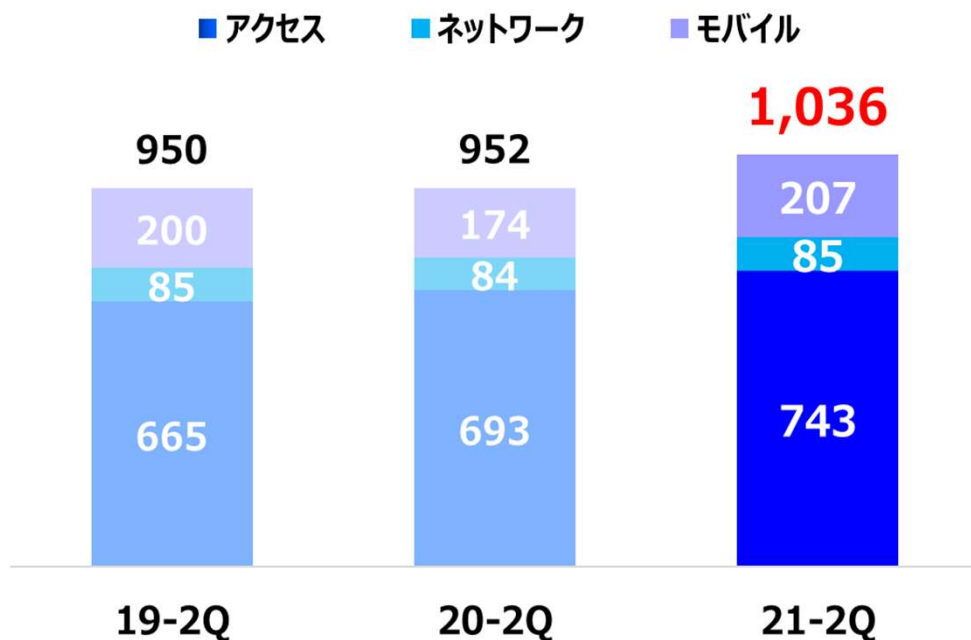
3. セグメント別概況

／ (1) NTTグループ

高度無線環境整備推進事業およびドコモ5G基地局の工事進捗により売上増

■ 売上高の推移

(単位：億円)



■ トピックス (NTT東西／NTTドコモ)

高度無線環境整備推進事業

2020年度に受注した当該案件については、今年度、施工が順調に進捗し、アクセス分野の売上増に貢献

ドコモの5G基地局計画

新周波数帯による5Gを積極的に展開
年度末2万局達成に向け工事進捗



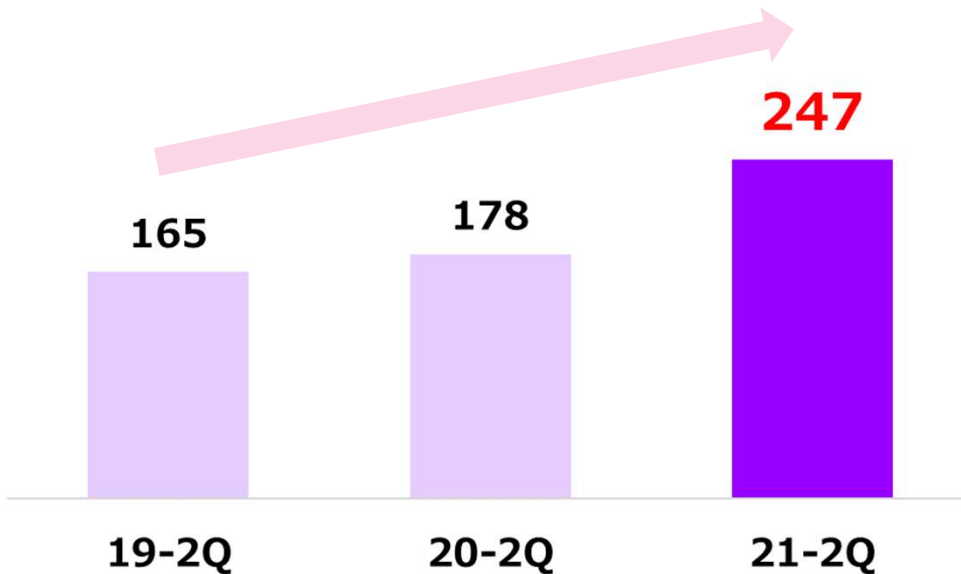
(出所：各通信キャリア発表資料より当社作成)

／ (2) NCC

モバイル各社の積極的な設備投資に伴い、受注・売上共に前期比大幅増

■ 売上高の推移

(単位：億円)



■ トピックス

モバイル各社の基地局建設状況

- ソフトバンク 概ね順調。5Gの人口カバー率は80%程度まで進捗
- KDDI 山手線・大阪環状線の駅ホームおよび駅間5Gエリア化完了
- 楽天モバイル 屋外基地局建設について半導体不足により完了遅延が発生

(出所：各通信キャリア発表資料等より)

各社ともに基地局建設方針に変更なく、目標達成に向け着実な施工を推進中

工事量急増への対応

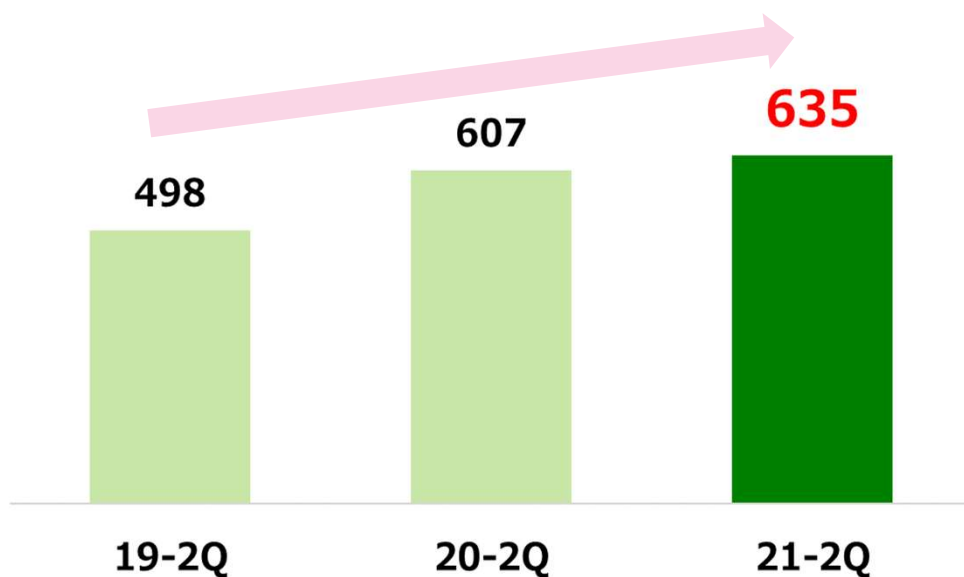
各社の要望にお応えするため、グループ内のリソースシフト・マルチスキル化等により施工能力を向上

／ (3) 都市インフラ

成長セグメントとして、新領域を含めて積極的に事業展開

■ 売上高の推移

(単位：億円)



■ トピックス

再生可能エネルギー P15

洋上風力発電事業への参入に向け、昭和電線HDと業務提携を開始

木質バイオマス自社発電 P16

木質バイオマスによる自社発電設備を建設中
投資資金は「グリーンボンド」にて調達予定

ローカル5G実証実験

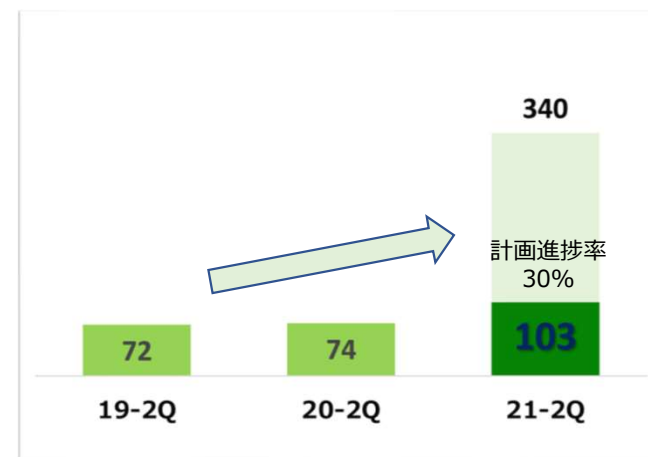
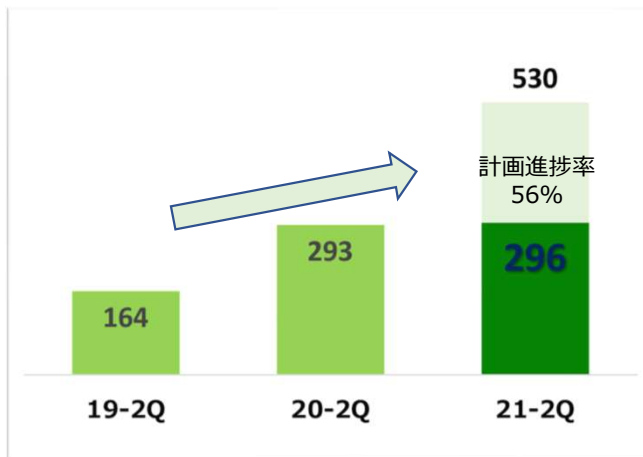
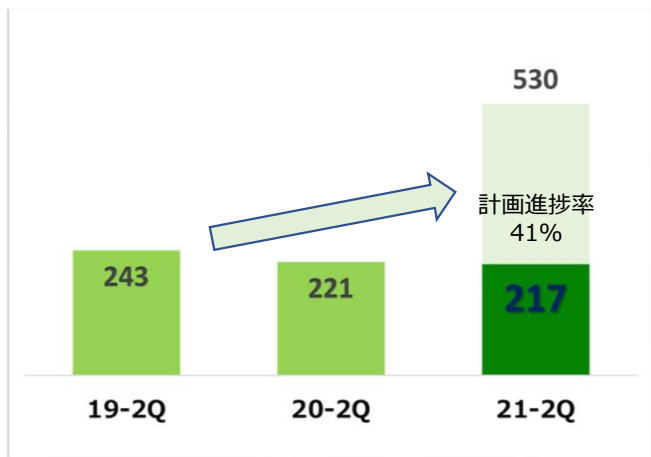
高速道路トンネル内メンテナンス作業の効率・安全性向上に関する実証実験を実施予定

／ (3) 都市インフラ

各事業領域において新分野を開拓し、業容の拡大を目指す

■ 売上高の推移

(単位：億円)



・公共等インフラ設備

鉄道、トンネル等の公共インフラ関連の更改需要の高まりに伴い、今後、リソースを積極的に投入

・電気/環境設備

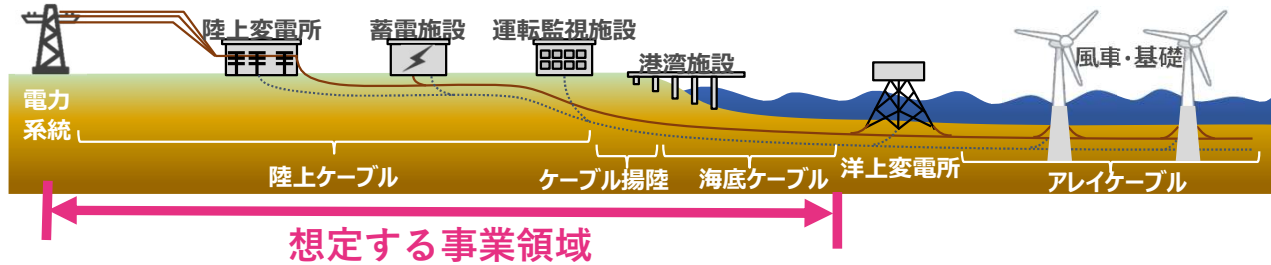
需要が継続するデータセンターに加え、再生エネルギー分野（洋上風力・木質バイオマス等）を開拓

・土木設備

無電柱化、トンネル等推進工事、老朽インフラリニューアル等の需要に積極的に対応

（3）都市インフラ（洋上風力ビジネスへの参画）

洋上風力発電については、電力自営線、ケーブル揚陸等の領域にて事業参画を予定
再生エネルギー分野での事業拡大に向けて昭和電線ホールディングスと業務提携



■ ニュースリリース（業務提携）

EXEO SWCC Creating for the Future

News Release 2021年9月21日

株式会社協和エクシオ
昭和電線ホールディングス株式会社

洋上風力発電に関する電力工事事業の業務提携について

株式会社協和エクシオ（代表取締役社長 船橋哲也、以下「協和エクシオ」）と昭和電線ホールディングス株式会社（代表取締役社長 長谷川隆代、以下「昭和電線HD」）は、2021年9月より、洋上風力発電に関する電力工事事業について業務提携（以下「本業務提携」）を開始いたしましたのでお知らせします。

■ 市場規模予測

2030年までに累計約4兆円の市場規模へ
(矢野経済研究所)

年度	2020	2030	2040	2050
年間導入量	~1GW	2~4GW	4~6GW	
年間サイト数	3~10	6~40	13~60	
自営線工事費 概算想定		300億~500億/件		

出所：The Crown Estate「Guide to an offshore wind farm」より試算

／ (3) 都市インフラ (バイオマス発電)

木質バイオマス発電による自社売電事業の開始に向け、発電所 (2箇所) を建設中
投資資金は「グリーンボンド (環境債)」により100億円調達を予定

【事業の目的】

■ エクシオグループとして

- ・地域の資源活用による循環型社会の形成
⇒SDGs達成に向けた貢献
- ・売電による新たな収益の確保

■ 建設地の自治体に対して

- ・雇用の創出、地域活性化
- ・再エネ推進都市として先行事例創出
- ・地域防災拠点としての機能提供



△ 栃木県バイオマス発電所 (イメージ)
発電規模: 7,000kw (売電6,000kw)
燃料: 国産自然木由来木質バイオマス
売電開始時期: 2023年中



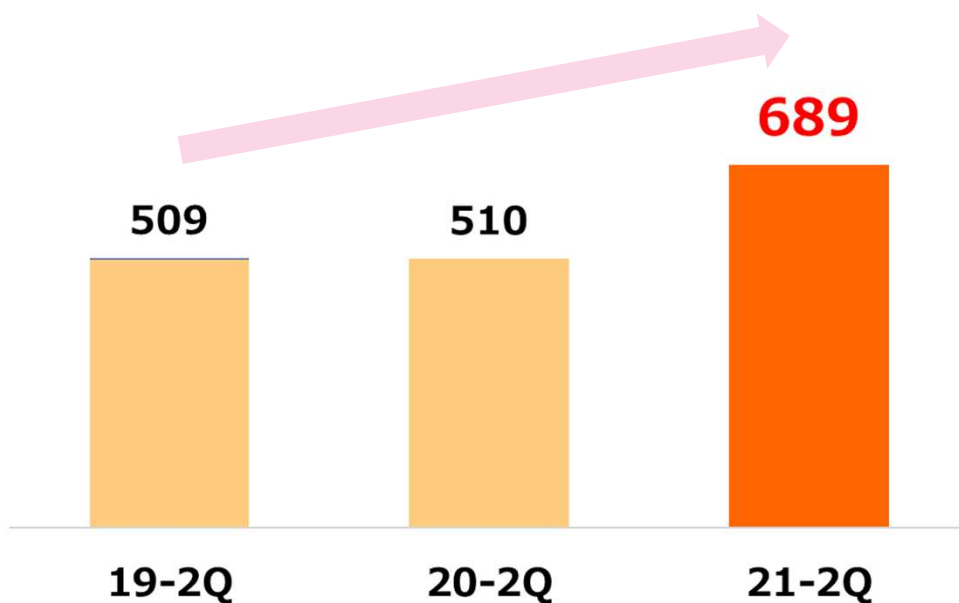
◇ 福島県バイオマスガス化発電所 (イメージ)
発電規模: 2,000kw (売電1,800kw)
燃料: 木質チップの乾留で発生する可燃性ガス
売電開始時期: 2024年中

／ (4) システムソリューション

高付加価値ソリューションを追求し、売上、利益ともに着実な成長を目指す

■ 売上高の推移

(単位：億円)



■ トピックス

新たな働き方への対応

新たな働き方に対応したコミュニケーション基盤の提供等、クラウドを含めた新たなサービスを提供

保守運用ビジネスの拡充 P19

グループ各社で個別に提供していたサービスを統合し、セキュリティを含めたリカーリングビジネスを拡大

グローバル事業の収益改善

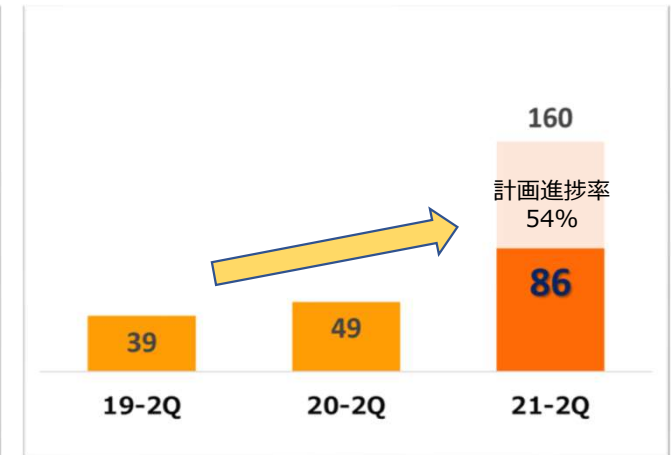
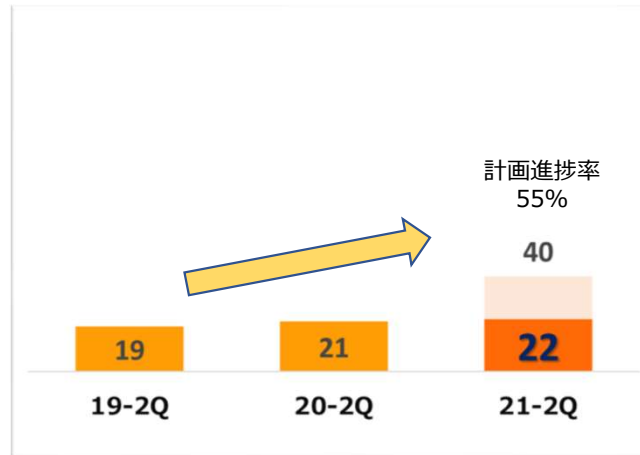
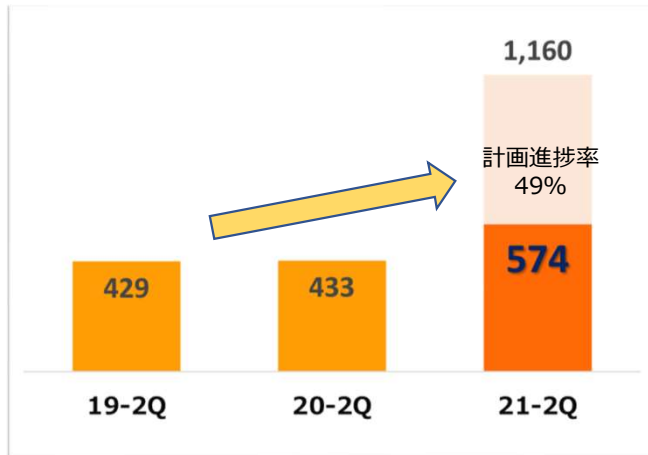
APACにおける事業基盤を拡充し、収益性も着実に改善
海外発新規ビジネスの日本国内での展開を開始

（４）システムソリューション

グループ各社のリソースを活かし、新たなソリューションを創出

■ 売上高の推移

(単位：億円)



・システム開発/サービス提供

上流コンサルからのワンストップでのサービス提供と新ソリューションの創出により新たな収益を確保

・保守運用

新カスタマーセンタの活用等により、グループ内リソースを集結し、リカーリングビジネスの拡大を追求

・グローバル

APACの経済成長を捉える新たなビジネス機会の創出により、大胆な事業拡大と収益基盤の確立を狙う

（４）システムソリューション（保守運用ビジネス）

リカーリング収入確保に向けて、保守運用ビジネスを拡大（2025年度に100億規模の事業へ）

グループリソースを集結し
運営体制を確立

新設カスタマーセンタによる受付体制集約（24時間365日）

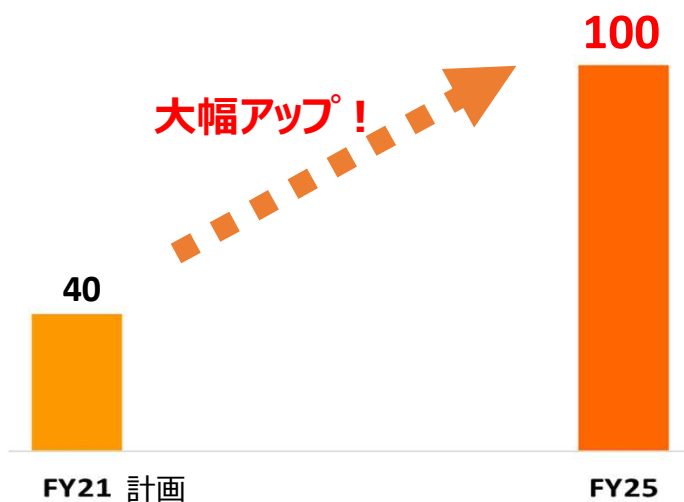
グループ各社と連携し保守拠点拡大（M&Aも含む）

ITシステム全面更改/共有ナレッジ導入


セキュリティを含めた保守運用メニューの拡充

■ 成長イメージ（売上高）

（単位：億円）



上図：新設したカスタマーサービスセンター



4. グループ戦略

／ (1) グループ再編成

グループ経営を強化し、シナジー最大化できる再編成を実施

＜エンジニアリング系子会社＞
エリアごとに最適な施工体制を実現

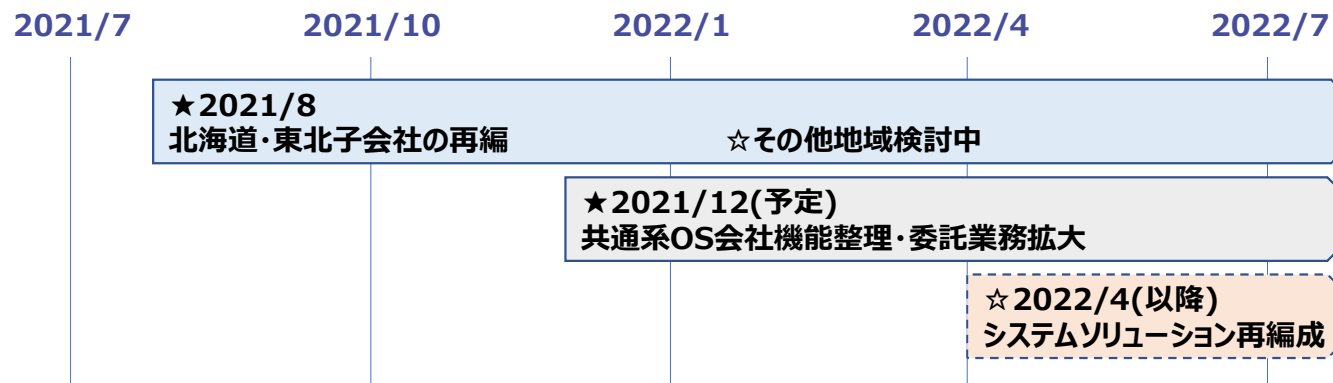
＜共通系子会社＞
DX・効率化を加速しコスト低減

＜ソリューション系子会社＞
リソースを結集し新たなサービス創出

2021/8
北海道・東北エリアにて統合実施
その他の地域は検討完了次第逐次実施

2021/12
共通系子会社業務再編実施
委託範囲拡大を検討

＜検討実施中＞



／ (2) 国内M&A実績と今後の狙い

中期経営計画達成に向けて、M&Aを適宜実施

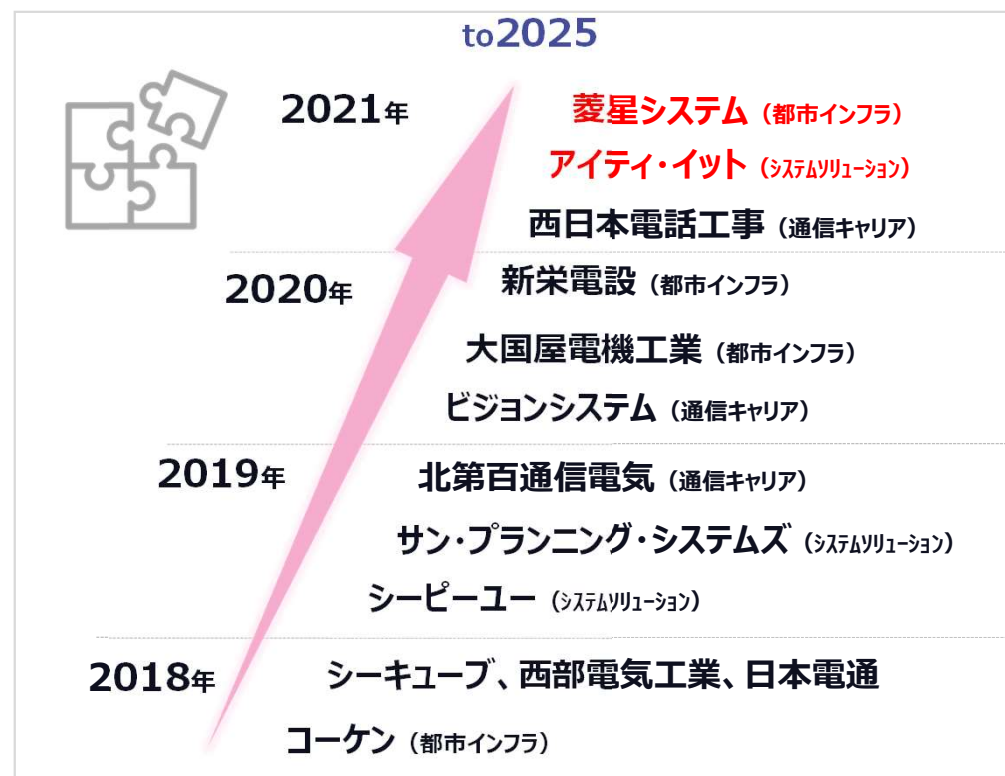
■ 2021年11月実施

- ・菱星システム（都市インフラ事業）
⇒電力線施工事業の強化と技術者育成の推進
- ・アイティ・イット（システムソリューション）
⇒保守運用事業基盤強化、リカーリングビジネス拡大

■ 今後の取組方針











- ・成長ドライバーとなるべきM&A先を探索
⇒技術者の確保、新事業/拡大領域における補完・強化
先駆的技術習得および上位/下位レイヤ体制強化
- ・PMIの強化
⇒統合効果を最大化

M&Aによる主なグループ化（2018年以降）



（3）ESG目標

ESG経営の実践としてKPIによるマネジメントを実施

	取組課題	2025年度KPI	関連するSDGs項目
Environment (環境)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 再生可能エネルギーへのシフト ■ 脱炭素、脱CO₂の取り組み ■ 資源循環型社会への貢献 ■ 環境に優しいグリーン製品活用 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 再エネ由来電力購入（自社管理拠点） 100% ■ EVなど低公害車導入率（一般車両） 100% ■ CO₂排出量 20年度比10%減 ■ 産業廃棄物最終処分率 20年度比50%減 ■ グリーン製品利用率 65% 	     
Social (社会)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業の安全・品質の確保 ■ ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ■ 働き方改革の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重大人身事故・重大設備事故ゼロを目指す ■ 女性管理職の人数 20年度末比1.5倍 ■ 女性社員の人数 20年度末比25%増 ■ 男性の育児休暇取得率 20% 	     
Governance (ガバナンス)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 透明性の高いマネジメントの実現 ■ コンプライアンスの徹底 ■ リスクマネジメントの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 重大な法令違反 ゼロを目指す ■ 重大な情報セキュリティ事故 ゼロを目指す ■ 重大な事業リスクを伴う事案のリスク評価実施率 100% 	   



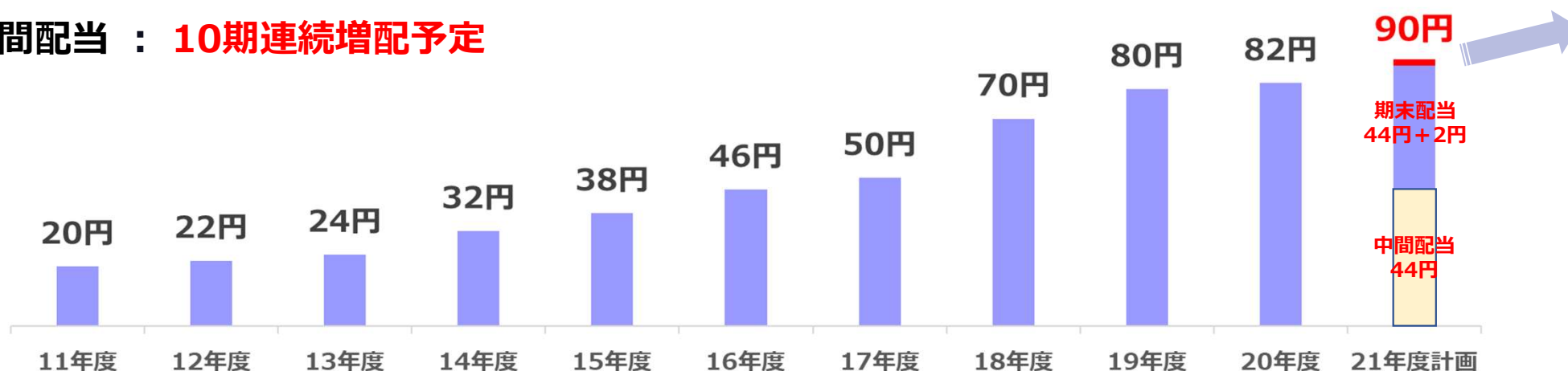
5. 株主還元

／ (1) 配当、自己株式

DOEを基準として安定的/継続的な株主還元を実施

今年度期末配当は、普通配当に加え社名変更に伴う**記念配当（2円）**を実施予定

■ 年間配当：10期連続増配予定



■ 自己株式取得：マーケット動向や業績・資金状況等に照らし、機動的に実施

今年度は30億円取得を公表済、今後も諸情勢に鑑み適宜判断

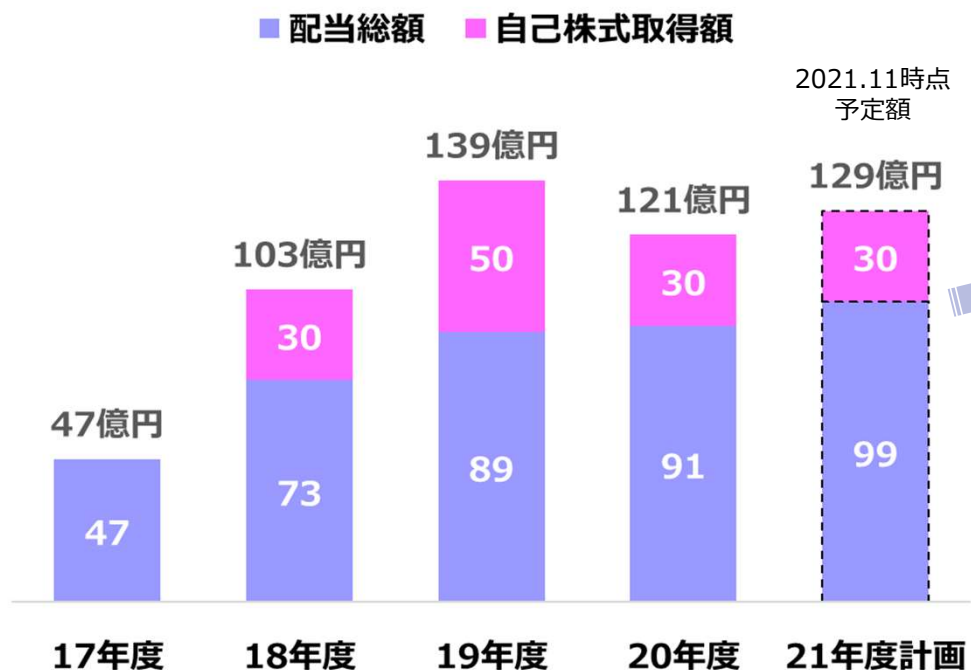
■ 自己株式消却：事業動向を踏まえて適宜実施

今年度は100万株の消却を実施

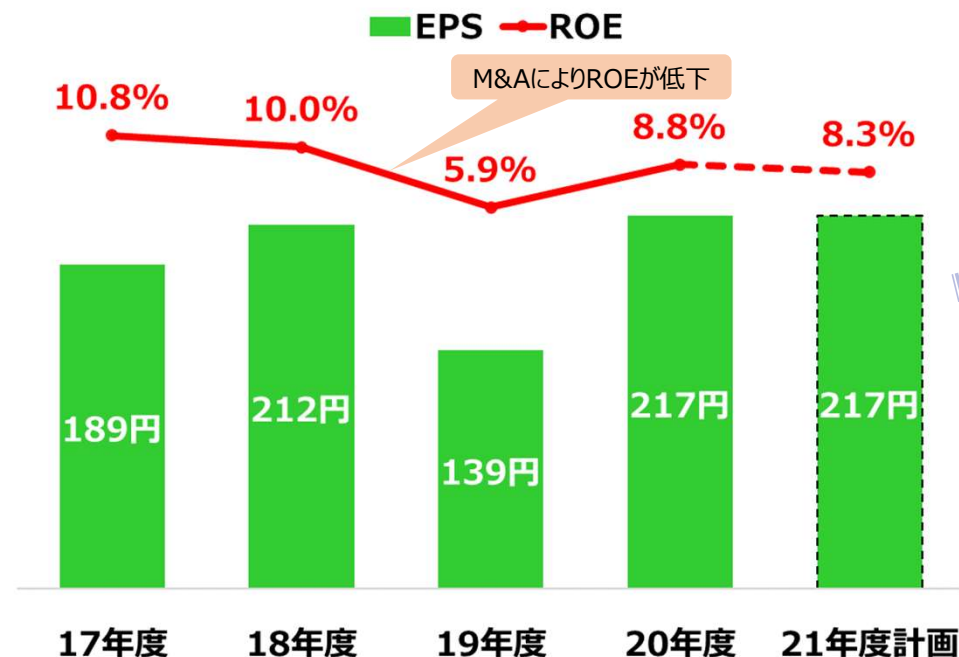
／ (2) 総還元額、ROE・EPS

継続的な増益と資本効率の向上により、ROE・EPSともに着実な上昇を目指す

■ 総還元額



■ ROE・EPS





6. トピックス

／ (1) コロナウイルスワクチンの職域接種

2021年7月初旬～8月末にかけて全国で職域接種を実施
グループ従業員/家族、事業所従事者を含め、約9,000名に接種



本社ビルでのワクチン接種模様



／ (2) スマートオフィスコンセプトにした支店オフィスの新設

札幌市内に分散していた当社の3事業拠点、グループ会社5社を集約する新オフィスを新設
最新設備導入で業務効率化/協働オフィス化を推進

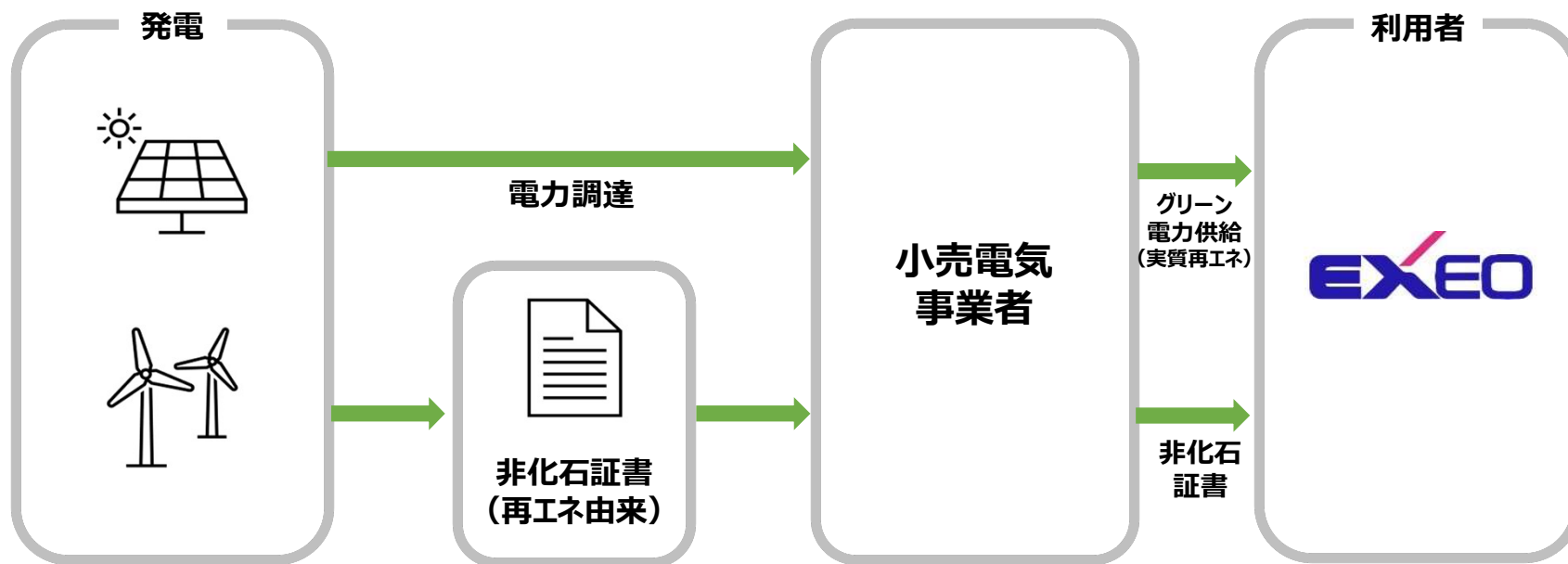


新設した北海道支店オフィス「エクシオ ナトラエ」ビル（2021年5月営業開始）



／ (3) 再生可能エネルギー由来電力を導入

国内38カ所の事業所に実質再生可能エネルギー由来の電力を導入
2025年度までにグループの自社管理拠点で使用するすべての電力を切換え予定



注記：再エネ指定の非化石証明書を組み合わせることで、環境価値の由来が分かる実質的な再生可能エネルギーとなります。

■ 注記事項

本資料に掲載している将来の見通しや業績予想等につきましては、当社が発表日現在において認識および入手している情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想と大きく異なる場合がありますのでご注意ください。

【お問合せ先】

エクシオグループ株式会社

経営企画部 IR担当

酒井、徳田、深堀

TEL 03-5778-1073

MAIL exeo.ir@en2.exeo.co.jp

Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリングをすべての未来へ

